

平成 27 年度 第 3 回理事会 議事録

開催日時：平成 27 年 5 月 21 日（木） 14：00～17：00

開催場所：秋田病理組織細胞診研究センター 会議室

総理事数：25 名

参加理事数：16 名

委任状提出理事：7 名

欠席：1 名

参加および委任状提出理事が過半数を超えており、本理事会は成立した。

書記：二部琴美（事務局長）

議事録署名人：伊藤 晃（県南理事）

議事内容：藤田会長が議長となり、資料に沿って議題が審議された。

審議内容は以下の通りである。

1. 前回議事録（平成 27 年 5 月 10 日開催、第 2 回理事会）の確認
総会に伴う第 1 回理事会、役員改選に伴う第 2 回理事会の議事録確認であったが、担当の小山田理事が急用で欠席となった為に次回確認事項となった。
2. 議題
 - 1) 平成 27 年度理事会の配置（役割分担）、連絡網について
 - ① 組織図
 - ・ 継続する理事については、昨年度と同じ担当とした。
 - ・ 職業体験は、健康と臨床検査展と同時に開催すると補助金がでるため、地域保健事業部に入れることとする。
 - ・ 修正箇所を訂正する。
 - ・ 各地区支部長
 - 由利地区：佐藤友章（由利組合総合病院）
 - 中央地区：未定（※後日 熊谷富美子（秋田県立脳血管研究センター））
 - 県南地区：伊藤 晃（大曲厚生医療センター）

県北地区：斎藤孝良（能代厚生医療センター）

阿部副会長 AKH の支部所属について、どこの所属となるか

→AKH の所属は由利地区とすることが了承された。

2) 改選による一社法的手続き変更について

小山田理事が担当となって進める。必要書類は随時連絡する。

3) 今後の事業について

① 平成 27 年度秋田県医学検査学会について（経過報告）

実行委員会を 3 回開催した。

11 月 7 日（土）湯沢ロイヤルホテル

学会長：藤田会長、実行委員長：伊藤晃、事務局：高橋一彦

テーマ：「新たな歩み」～必要とされる検査室へのアプローチ～

6 月下旬に要綱を発送する

- ・ 9 時から一般演題
- ・ 高校生対象の職業体験実施する。
- ・ 特別講演：検査説明、相談について 岩手医科大学病院の諏訪部章教授
- ・ 公開講座：ジオパーク ジオパーク推進室参事兼室長沼倉誠先生
- ・ 17 時 30 分より情報交換会

② 平成 29 年度北日本医学検査学会について

平成 27 年：札幌、平成 28 年：新潟、に次ぐ開催県となる。

- ・ 今年中に日程、場所、内容を決定する。
- ・ 北日本医学検査学会の実行委員会を設けて実施していく。
県技師会事務局長、学術部長は実行委員会には入らずにサポート体制、学術中心に原案をまとめる。
- ・ 開催時期はおよそ 10 月。1000～2000 人程度。
- ・ 場所は、にぎわい交流館とキャッスルで検討する。
- ・ 前年開催の新潟の学会に視察に行く。
- ・ 新たにメンバーを各病院から選出し内容をつめて運営していく案もある。

その他

① 委嘱状及び施設への委嘱承認依頼文について

- ・ 近日中に本人宛、施設宛に発送する。

② 連盟加入促進について

- ・ 政治的活動をするために連盟への加入促進していくので、役員協力体制必

要。現在の加入状況は9名、(会員4名、非会員 5名))

- ・ 技師の立場を良くしていかないと、将来的にこの職種は危うくなっていくと思われる。法律を改正していく必要がある。

③ 組織体制について

- ・ 女性部をサポートして充実させていく必要があるので、今年度も重要項目。
- ・ 青年部を立ち上げも行い、若年層の活性化をはかる。採用に応募がしてこない状況を来するようにする取り組みが必要であり、夢をもって働けるように次世代ベースでの活動が必要。今までやっていないことをやっていくのは難しいところもあるが、阿部副会長が音頭をとってやってほしい。

④ 会計について (久保田理事)

- ・ 交通費については、新たに提案していたが、確定していない。
- ・ 会計に関するファイルを各理事に送付するので、参考にする。
- ・ 10万円を超えるものは会長の承認が必要。
- ・ 会計を担当する場合：現金支払いを伴う場合は、必ず出納を記録すること。計算書を作成すること。立て替え払いはほしくない方がよい。領収書は必ず添付すること。
- ・ 現金出納帳は必ず作ること。
- ・ 5,000円位以上は源泉徴収をしている。
- ・ 日臨技助成金の申請を必ずすること。

⑤ 事務所のプリンターについて

- ・ レーザープリンターが壊れたため、新しいものを購入したい。各機種について見積もりをとってすすめる。

⑥ 学会発表について

- ・ 全国学会への発表演題数が少ないので、若い人にどんどん発表してもらいたい。そうしないと将来指導的していく人がいなくなる。
 - 技師会として支援体制を考慮していく。日臨技へのラダー制度導入等提案していく。
 - 部門長を中心に発表するように取り組んでいく。

一般社団法人 秋田県臨床検査技師会

議事録署名人 伊藤 晃 印